

別紙

本製品をペンタックス製一眼レフ(K-3/K-5/K-50等)でご使用のお客様へ

この度はエツミE-6315タイマーリモートスイッチC1をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

カメラ側がB(バルブモード)で露光時間を本製品のBU(露光時間)で設定する場合、INT(インターバル間隔)をBUより3秒以上長く設定しないと、初回のBU動作時からN(回数)で設定した全ての動作を終えるまで、カメラのシャッターが開いたままになる現象が確認されました。この現象は比較明合成での天体撮影など、長時間露光を短時間の間隔で連続的に動作させたい場合での発生が想定されます。

この動作は、本製品とペンタックス製一眼レフとの動作仕様が合わないことにより発生するものであり、製品自体の不良ではございません。なお、同じΦ2.5mmステレオジャックタイプのキヤノン製・フジフィルム製一眼レフとの組み合わせでは、この症状は確認されません。

症状を回避する方法は下記でございます。

露光時間が30秒以下(カメラ側で設定できる範囲内)の場合

- ・カメラ側をバルブモードではなく、マニュアルモードで 露光時間を設定。

設定例

- ・DE/00:00:05 BU/00:00:00 又は00:00:01 INT/00:00:04 N/5
- ・露光時間/カメラ側で2秒に設定。

※ 露光時間をカメラ側で設定し、タイマーは単にシャッターを瞬間的に押すだけの設定です。

※ 上記設定の場合、5秒の遅延動作後、2秒間露光/2秒間待機のサイクルを5回繰り返します。

露光時間が30秒を超える場合

- ・カメラ側をバルブモードとし、INTの設定をBUに対して3秒以上加算します。

設定例

- ・BU/00:00:40の場合は、INTを00:00:43より長く設定。
- ・BU/00:01:00の場合は、INTを00:01:03より長く設定。

なお、ペンタックス製一眼レフに限らず長時間露光を短時間の間隔で連続して正しく動作させ続けるには、ノイズリダクションや感度設定・メディア/バッテリー残量を確認し、初回から最後まで正しく動作しているのか、大切な機会を逃さないためにもテスト撮影をお勧め致します。

※カメラの機種及び設定内容により、最初の数コマが正しく動作しても特定の回数ごとに周期的に正しく動作しない条件も見られるためです。

何卒、ご理解ご了承頂きますよう、お願い申し上げます。